

# だれでもできる 道路出来形・杭偏心量

## 道路出来形管理について

道路出来形管理は、道路施工に必要な各施工層の高さ・厚さ・幅員・勾配等の複合管理を行い、左・右・端部の高さ計算などを「出来形管理システム」内で行なう機能です。

## 杭偏心量出来形管理について

杭偏心量出来形管理は、設計値・実測値のX・Yを入力することにより、測定値・偏心量を自動計算する機能です。

### 目次

- ☐ 道路出来形管理
  - 01 道路出来形工種を作成する 1
  - 02 道路出来形のデータを入力する 6
  - 03 道路出来形の帳票を選択する 9
  - 04 道路出来形の帳票を印刷する 11
- ☐ 杭偏心量出来形管理
  - 05 杭偏心量を管理する 13

目次をクリックすると  
操作方法ページに  
移動します！

カチッ！



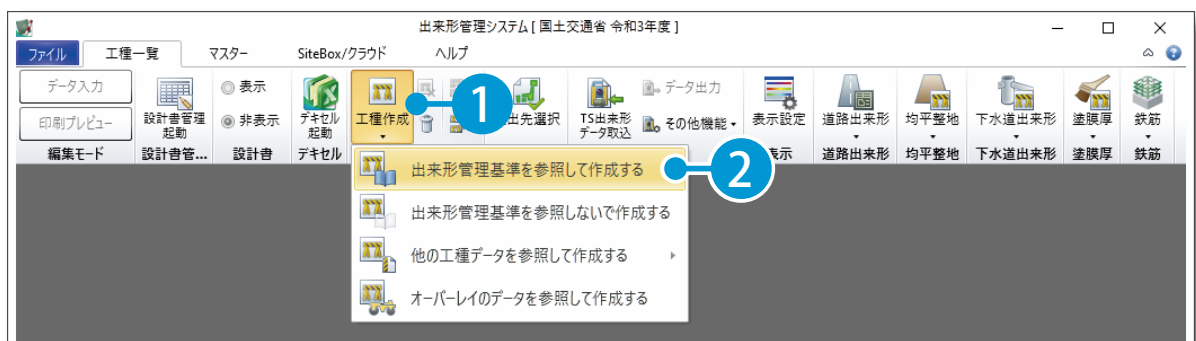
# 道路出来形工種を作成する

ここでは、道路施工に必要な工種を合成し、道路出来形工種を作成します。

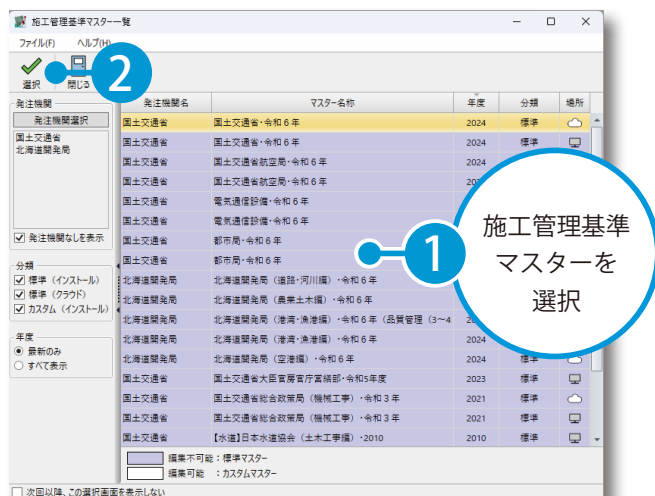
道路出来形工種の作成方法は2通りあります。

- ① 道路施工に必要な工種を合成する場合（以下の手順を参考にしてください。）
- ② ゼロから作成する場合（[道路出来形] → [工種作成] から作成してください。）

01 | 工種を作成します。ここでは、出来形管理基準を参照して作成します。



02 | 出来形管理基準を選択します。

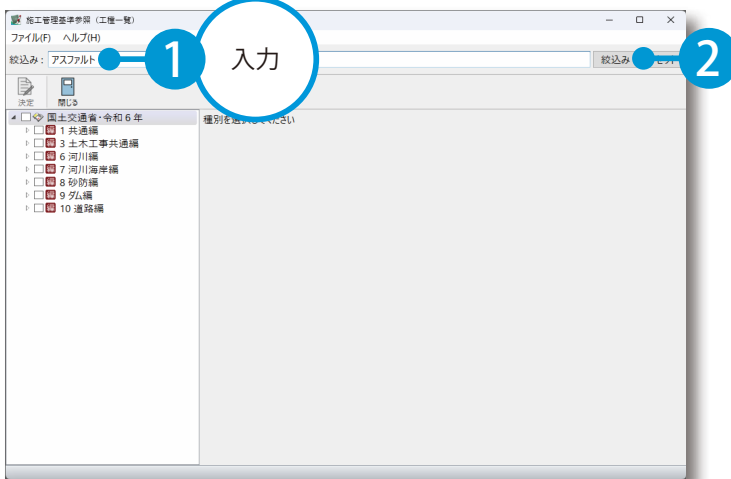


よくあるお問い合わせ

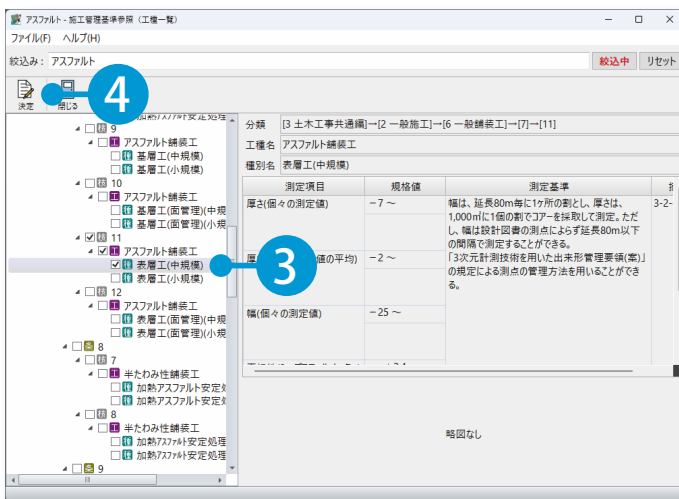
マスター名称欄に施工管理基準マスターが何も表示されない場合は、インターネット回線へ接続して標準（クラウド）のマスターを参照してください。または出来形管理システムを終了し、保守会員様専用サイトから施工管理基準マスターをインストールして、出来形管理システムを起動し、[工種作成] を実行してください。標準（クラウド）のマスターを参照する場合は、施工管理基準マスター一覧画面で分類チェックボックスの「標準（クラウド）」にチェックを付けてください。

## 03 | 工種・種別を選択します。

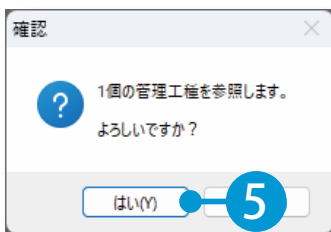
### 1 工種・種別を絞り込みます。



### 2 絞り込み結果が表示されるので、必要な種別をチェックします。 必要な種別をすべて選択し、[決定] をクリックします。

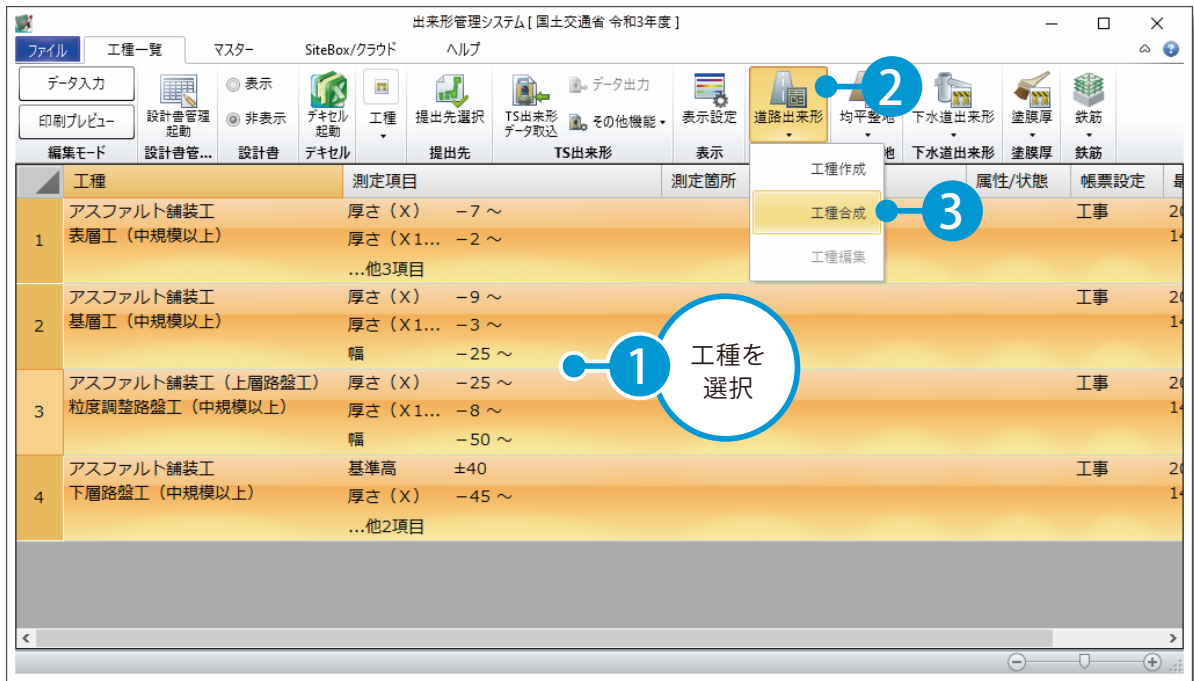


### 3 [はい] をクリックすると、取り込まれます。



## 04 | 工種を合成し、道路出来形を作成します。

1 合成する工種をすべて選択し、[道路出来形] → [工種合成] をクリックします。



### 工事成成時の注意点

- 1 道路出来形の工種合成後は、合成した工種への工種追加ができません。  
必要な工種をすべて選択してください。
- 2 以下の場合、道路出来形の工種合成はできません。
  - 工種の数が0の場合
  - 選択した工種が11工種以上の場合
  - 選択した工種に道路工種が含まれている場合

## 2 詳細を設定します。

道路出来形 工程合成

工種名

種別名

細別名

厚さの管理方法  
☒ 基準高  
☐ 下がり  
☐ 基準高も管理する

管理点  
☒ 左 ☒ センター ☒ 右  
☐ 幅を管理する ☐ 道路項目以外を削除する  
☐ 勾配を管理する

4 管理する項目を設定

層の順序、および各層の名称、関連項目を設定してください。  
 (※関連項目が「なし」の場合は、新たに測定項目が追加されます。)

工種名	種別名	細別名	層名	基準高	厚さ
1 アスファルト舗装工	表層工(中規模以上)		表層	なし	厚さ(××)
2 アスファルト舗装工	基層工(中規模以上)		基層	なし	厚さ(××)
3 アスファルト舗装工	上層路盤工(中規模以上)		上層路盤	なし	厚さ(××)
4 アスファルト舗装工	下層路盤工(中規模以上)		下層路盤	基準高(H)	

5 層名を入力

6 合成前の規格値・単位・桁を利用する場合に選択し、割り当てます。

7 OK

層の追加・削除や、[移動]または、番号のドラッグで層の順序を移動できます。

追加 削除 上へ移動 下へ移動

### 下がり管理をする場合

厚さの管理方法欄で[下がり]を選択します。  
 基準高も管理する場合は、チェックボックスにチェックを入れます。

厚さの管理方法  
☐ 基準高  
☒ 下がり  
☒ 基準高も管理する

管理点  
☒ 左 ☒ センター

### 幅・勾配を管理をする場合

それぞれチェックボックスにチェックを入れます。

- 1 幅を管理する場合
- 2 勾配を管理する場合

管理点  
☒ 左 ☒ センター ☒ 右

1 ☒ 幅を管理する  
 2 ☒ 勾配を管理する

### 道路工種に不要な項目を削除する場合

道路項目以外を削除する場合は、チェックボックスにチェックを入れます。

☒ 幅を管理する ☒ 道路項目以外を削除する  
☒ 勾配を管理する

## 層名、基準高・厚さ欄について

層名や割り当てた規格値などは、データ入力画面では以下のように反映されます。

### 工種合成画面

工種名	種別名	層名	基準高	厚さ	幅
1 アスファルト舗装工	表層工(中規模以上)	表層	なし	厚さ(X)〇	幅〇
2 アスファルト舗装工	基層工(中規模以上)	基層	なし	厚さ(X)〇	幅〇
3 アスファルト舗装工(上層路盤工)	粒度調整路盤工(中規模以上)	上層路盤	なし	厚さ(X)〇	幅〇
4 アスファルト舗装工	下層路盤工(中規模以上)	下層路盤	基準高(H)		幅〇

層ごとに  
タブが表示  
されます。

割り当てた  
規格値・単位・  
桁が反映され  
ます。

### 工種合成後の データ入力画面

全ての測定項目	表層	基層	上層路盤	下層路盤	所属なし
測定項目	設計値	実測値1	単位	測定値	規格値
1 表層			m		mm
2 表層 - 基準高 ( ) - CL【道路】			m		mm
3 表層 - 基準高 ( ) - R1【道路】			m		mm
4 表層 - 厚さ(X) ( ) - L1			mm		mm
5 表層 - 厚さ(X) ( ) - CL			mm		mm
6 表層 - 厚さ(X) ( ) - R1			mm		mm

層名が  
測定項目名の  
先頭に  
付きます。

3 工種が合成されます。合成後の工種には「道路」と表示されます。

出来形管理システム [ 国土交通省 令和3年度 ]

ファイル 工種一覧 マスター SiteBox/クラウド ヘルプ

データ入力 設計書管理 表示 非表示 デキセル 提出先選択 TS出来形 データ取込 表示設定 道路出来形 均平整地 下水道出来形 塗膜厚 鉄筋

印刷プレビュー 編集モード 設計書管... 設計書 デキセル 提出先 TS出来形 表示 道路出来形 均平整地 下水道出来形 塗膜厚 鉄筋

工種		測定項目		測定箇所	メモ	属性/状態	帳票
1	アスファルト舗装工 表層工 (中規模以上)	厚さ (X)	-7 ~				工事
		厚さ (X1...	-2 ~				
		...他3項目					
2	アスファルト舗装工 基層工 (中規模以上)	厚さ (X)	-9 ~				工事
		厚さ (X1...	-3 ~				
		幅					
3	アスファルト舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工 (中規模以上)	厚さ (X)	-25 ~				工事
		厚さ (X1...	-8 ~				
		幅					
4	アスファルト舗装工 下層路盤工 (中規模以上)	基準高	±40				工事
		厚さ (X)	-45 ~				
		...他2項目					
5	アスファルト舗装工	基準高				道路	工事
		基準高					
		...他46項目					

# 道路出来形のデータを入力する

設計値・実測値などを入力します。ここでは、表層と基層の基準高（設計値）を入力し、表層の厚さを自動で計算します。

## 01 | 測点を追加し、設計値・実測値などを入力します。

1 道路工種を選択し、画面左上の「データ入力」をクリックします。



2 [測点作成] → [測点を追加する] をクリックします。



## 道路出来形の入力画面について

No.1	全ての測定項目	表層	基層	上層路盤	下層路盤	所属なし
No.2	測定項目	設計値	実測値1	単位	測定	差1
No.3	1 表層 - 基準高 ( ) - L1【道路】	60.000				
No.4	2 表層 - 基準高 ( ) - CL【道路】					
No.5	3 表層 - 基準高 ( ) - R1【道路】					
	4 表層 - 厚さ (X) ( ) - L1【道路】					mm
	5 表層 - 厚さ (X) ( ) - CL【道路】					mm
	6 表層 - 厚さ (X) ( ) - R1【道路】					mm
	7 表層 - 幅 ( )【道路】					mm
	8 表層 - 幅 ( ) - L1【道路】					mm

道路工種は、層ごとにタブが分かれて表示されます。

道路出来形の管理項目は、測定項目名の最後に【道路】と表示されます。

## 02 | 表層と基層の基準高（設計値）を入力し、表層の厚さを自動計算します。

1 表層タブに切り替え、基準高の設計値を入力します。

No.1

No.2

No.3

No.4

No.5

全ての測定項目

表層

基層

上層路盤

下層路盤

所属なし

測定項目

設計値

実測値1

単位

差

規格値

基準値

1

2

表層タブ  
を選択

設計値を入力  
※茨城県の場合、  
CLに入力して  
ください。

1	表層 - 基準高 ( ) - L1【道路】	60.000				mm		
2	表層 - 基準高 ( ) - CL【道路】					mm		
3	表層 - 基準高 ( ) - R1【道路】					mm		
4	表層 - 厚さ (X) ( ) - L1【道路】					mm	-7 ~	
5	表層 - 厚さ (X) ( ) - CL【道路】					mm	-7 ~	
6	表層 - 厚さ (X) ( ) - R1【道路】					mm	-7 ~	
7	表層 - 幅 ( )【道路】					mm	-25 ~	
8	表層 - 幅 ( ) - L1【道路】					mm	-25 ~	

<

>

+

表層タブを選択

設計値を入力  
※茨城県の場合、CLに入力してください。

2 基層タブに切り替え、基準高の設計値を入力します。

No.1

No.2

No.3

No.4

No.5

全ての測定項目

表層

基層

上層路盤

下層路盤

所属なし

測定項目	設計値	実測値1	差1	単位	差	規格値	基準値
15 基層 - 基準高 ( ) 【道路】	59.950					mm	
16 基層 - 基準高 ( ) 【道路】						mm	
17 基層 - 基準高 ( ) 【道路】				m		mm	
18 基層 - 厚さ ( ) 【道路】						mm	-9 ~
19 基層 - 厚さ ( ) 【道路】						mm	-9 ~
20 基層 - 厚さ (X) ( ) - R1 【道路】						mm	-9 ~
21 基層 - 幅 ( ) 【道路】						mm	-25 ~
22 基層 - 幅 ( ) - L1 【道路】						mm	-25 ~

3

4

設計値  
を入力

基層タブ  
を選択

基層タブを選択

設計値を入力



- 3 表層と基層の基準高（設計値）を入力すると、表層の厚さが自動で計算されます。表層タブに切り替えます。

全ての測定項目									
表層 基層 上層路盤 下層路盤 所属なし									
測定項目	設計値	実測値1	単位_測定	差1	単位_差	規格値	基準値		
1 表層 - 基準高 ( ) - L1【道路】	60.000		m		mm				
2 表層 - 基準高 ( ) - CL【道路】			m		mm				
3 表層 - 基準高 ( ) - R1【道路】			m		mm				
4 表層 - 厚さ (X) ( ) - L1【道路】	50		mm		mm	-7 ~			
5 表層 - 厚さ (X) ( ) - CL【道路】			mm		mm	-7 ~			
6 表層 - 厚さ (X) ( ) - R1【道路】			mm		mm	-7 ~			
7 表層 - 幅 ( )【道路】			mm		mm	-25 ~			
8 表層 - 幅 ( ) - L1【道路】			mm		mm	-25 ~			

- 4 同様の手順で、他の道路出来形の管理項目にも値を入力してください。

### 管理不要の測定項目

工種合成後、【道路】と記入されていない測定項目は管理不要です。

データを入力しても、道路の帳票には表示されません。不要な項目を削除する場合は、[道路出来形]→[工種編集]から、[道路項目以外を削除する]にチェックを付け編集してください。

※道路工種合成時に[道路項目以外を削除する]にチェックを付けると、道路工種に不要な項目は削除された状態で道路工種が作成されます。

横断データ入力 縦断データ入力									
選択測点なし									
全ての測定項目 表層 基層 上層路盤 下層路盤 所属なし									
測定項目	設計値	実測値1	単位_測定	差1	単位				
1 表層 - 基準高 ( ) - L1【道路】			m		mm				
2 表層 - 基準高 ( ) - CL【道路】			m		mm				
3 表層 - 基準高 ( ) - R1【道路】			m		mm				
4 表層 - 厚さ (X) ( ) - L1【道路】			mm		mm				
5 表層 - 厚さ (X) ( ) - CL【道路】			mm		mm				
6 表層 - 厚さ (X) ( ) - R1【道路】			mm		mm				
7 表層 - 厚さ (X) ( )			mm		mm				
8 表層 - 厚さ (X10) ( )			mm		mm				
9 表層 - 幅 ( )			mm		mm				

新規測点を作成するには、[測点作成]ボタンをクリックしてください。

# 道路出来形の帳票を選択する

使用する道路出来形の帳票を選択します。

## 01 | 道路出来形の帳票を選択します。

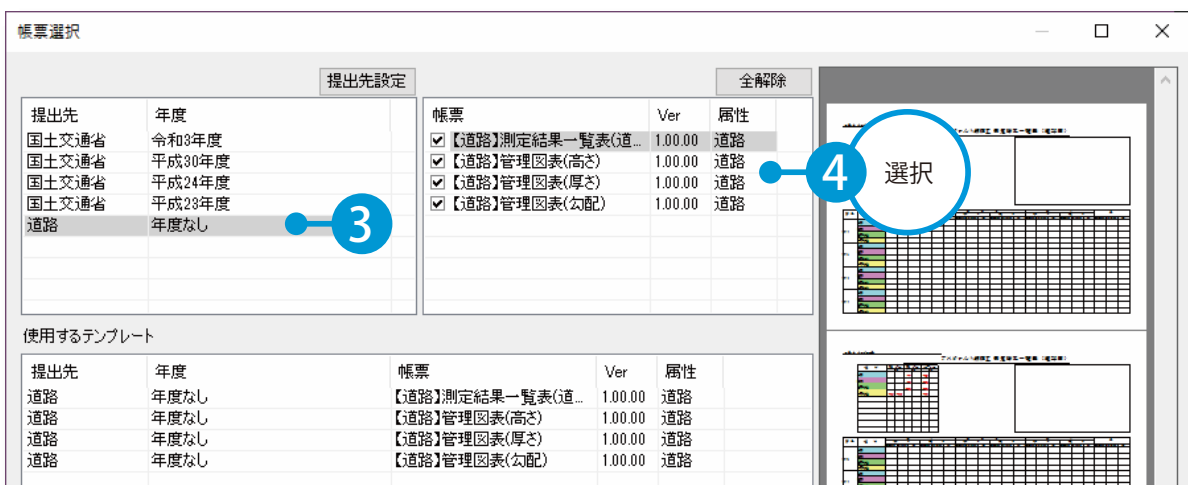
1 [印刷プレビュー] をクリックします。



2 [印刷プレビュー] タブ → [帳票選択] をクリックします。



3 提出先・帳票を選択します。



#### 4 使用する帳票を確認します。

帳票選択

提出先設定 全解除

提出先	年度	帳票	Ver	属性
国土交通省	令和3年度	<input checked="" type="checkbox"/> 【道路】測定結果一覧表(道...	1.00.00	道路
国土交通省	平成30年度	<input checked="" type="checkbox"/> 【道路】管理図表(高さ)	1.00.00	道路
国土交通省	平成24年度	<input checked="" type="checkbox"/> 【道路】管理図表(厚さ)	1.00.00	道路
国土交通省	平成23年度	<input checked="" type="checkbox"/> 【道路】管理図表(勾配)	1.00.00	道路
道路	年度なし			

使用するテンプレート

提出先	年度	帳票	Ver	属性
道路	年度なし	【道路】測定結果一覧表(道...	1.00.00	道路
道路	年度なし	【道路】管理図表(高さ)	1.00.00	道路
道路	年度なし	【道路】管理図表(厚さ)	1.00.00	道路
道路	年度なし	【道路】管理図表(勾配)	1.00.00	道路

提出先・帳票を変更した場合、帳票編集の設定は初期化されます。

OK

5 確認

6

#### 5 道路出来形の帳票がタブで追加されます。

出来形管理システム [ 国土交通省 令和3年度 ]

ファイル 印刷プレビュー 禁則文字 ヘルプ

工程一覧 工事 帳票編集 帳票選択 再読込 印刷 Excel PDF 修飾CAD 電子納品 虫眼鏡 高さ

データ入力 工程ごと

編集モード 帳票設定 帳票 印刷/出力 プーム

【道路】測定結果一覧表(道路用) 【道路】管理図表(高さ) 【道路】管理図表(厚さ) 【道路】管理図表(勾配)

左1 センター 右1

<< 先頭ページ < 前へ 1 / 2ページ 次へ > 最終ページ >>

主要なサンプル工事

アスファルト舗装工 測定結果一覧表 (道路用)

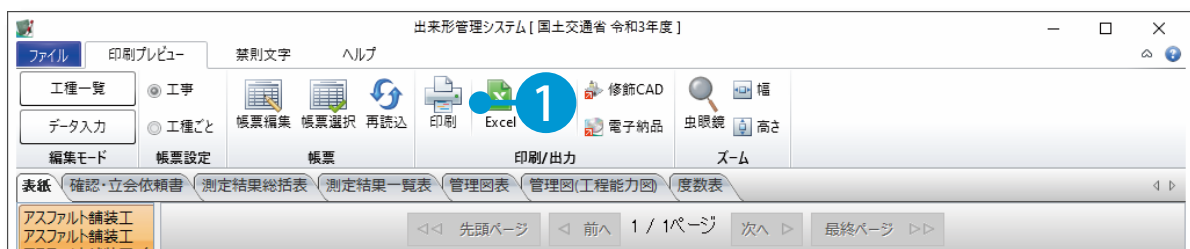
項目	下層(左)	中層(中)	上層(右)
厚さ	100	100	100
厚さ	100	100	100
厚さ	100	100	100
厚さ	100	100	100

# 道路出来形の帳票を印刷する

プリンタ、部数などを設定し、道路出来形管理の帳票を印刷します。

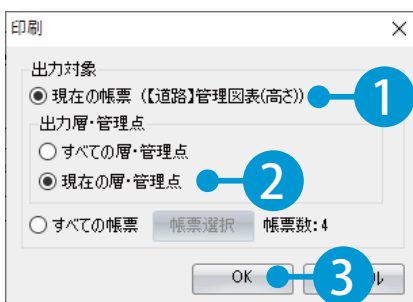
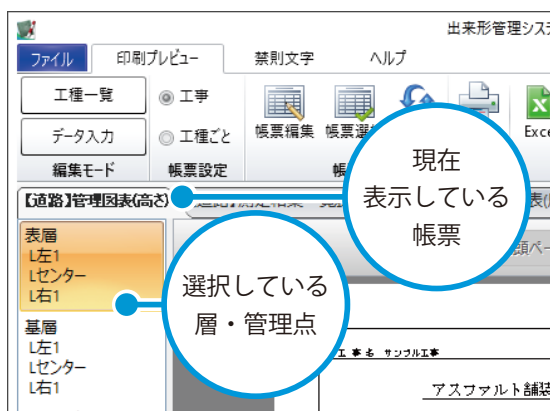
## 01 | 道路出来形の帳票を印刷します。

1 [印刷プレビュー] タブ → [印刷] をクリックします。



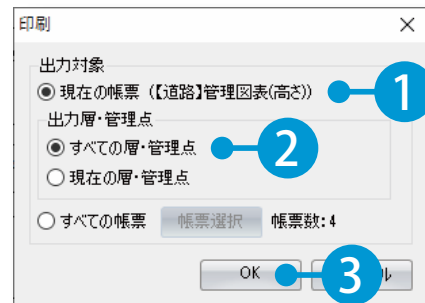
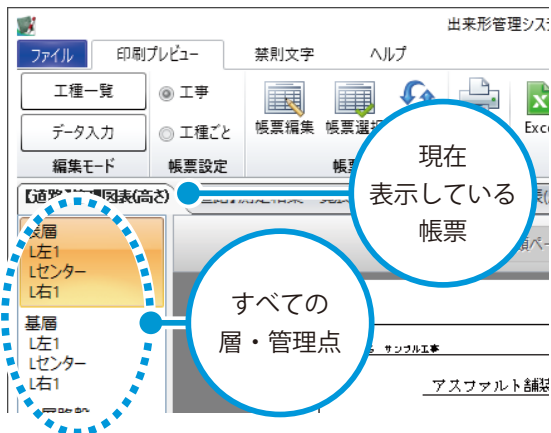
2 印刷範囲を設定します。

現在表示している帳票の、選択している層・管理点を印刷する場合



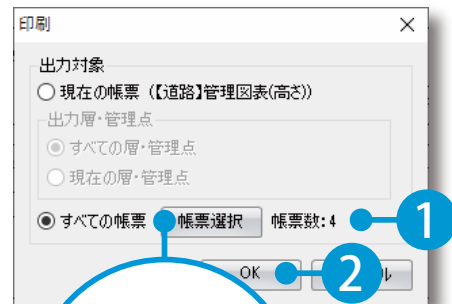
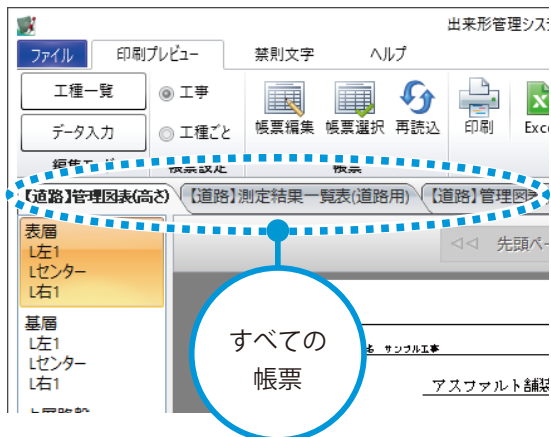
※出力層・管理点欄がない画面が表示された場合は、  
2 の手順を省いてください。

現在表示している帳票の、すべての層・管理点を印刷する場合



※出力層・管理点欄がない画面が表示された場合は、**2**の手順を省いてください。

すべての帳票の全ページを印刷する場合

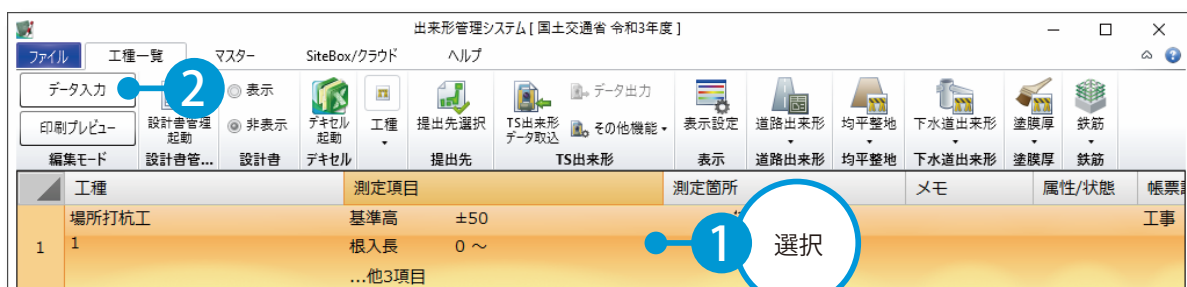


すべての帳票から、さらに帳票を選択して印刷できます。

# 杭偏心量を管理する

杭偏心量を管理する場合は、工種を選択後、[データ入力]を実行します。  
データ入力画面に切り替わります。

## 01 | 杭偏心量を管理する工種を選択し、[データ入力]ボタンをクリックします。



### 工種選択時の注意点

以下の工種は、杭偏心量の設定はできません。

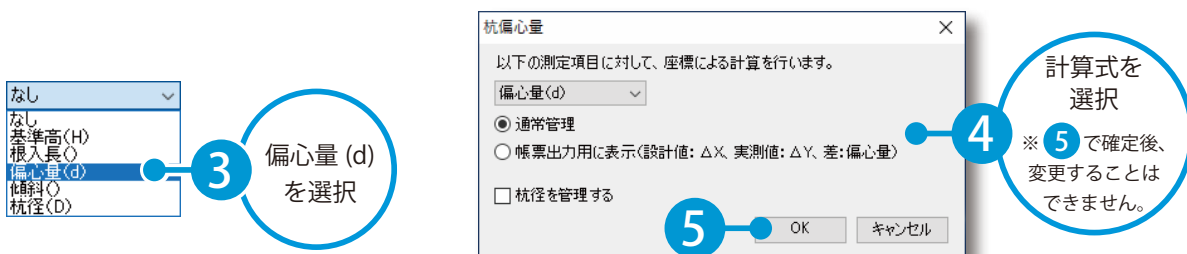
- ・ 道路出来形の工種
- ・ すでに杭偏心量の設定をしている工種

## 02 | 杭偏心量を管理する設定をします。

### 1 [拡張機能] → [杭偏心量] を選択します。



### 2 [偏心量 (d)] を選択後、計算式を選択します。



## 杭偏心量の計算式について

通常管理 偏心量 (d) の設計値が「0 (ゼロ)」

3	X () 【杭偏心量】	10.000	10.004	m	+4	mm		
4	Y () 【杭偏心量】	20.000	20.005	m	+5	mm		
5	H () 【杭偏心量】	30.000	30.010	m	+10	mm		
6	偏心量 (d) 【杭偏心量】	0	6	mm	+6	mm	0 ~ +...	

帳票出力用に表示 偏心量 (d) の設計値が「X 実測値 - X 設計値」、実測値が「Y 実測値 - Y 設計値」

3	X () 【杭偏心量】	10.000	10.004	m	+4	mm		
4	Y () 【杭偏心量】	20.000	20.005	m	+5	mm		
5	H () 【杭偏心量】	30.000	30.010	m	+10	mm		
6	偏心量 (d) 【杭偏心量】	4	5	mm	+6	mm	0 ~ +...	

※設定した計算式によって、データ入力時に表示される値が変わります。

※どちらの計算式を選択しても「差の値」は変わらないので、印刷時には影響はありません。

## 03 | [測点作成] → [測点を追加する] をクリックします。

杭偏心量の管理項目は、測定項目名の最後に【杭偏心量】と表示されます。

測点を追加すると計算式の割り当てられている項目の入力欄が水色に変わります。

測点名を入力

4

## 管理不要の測定項目

設定後、【杭偏心量】と記入されていない測定項目は、管理不要です。

データを入力しても、杭偏心量の帳票には表示されません。

# 04 | 設計値・実測値を入力すると、偏心量が自動で計算されます。

出来形管理システム [国土交通省 令和3年度]\*

ファイル データ入力 ヘルプ

工程一覧 印刷プレビュー 元に戻す やり直し 測点 測定項目作成 削除 編集 社内規格値一括設定 社内規格... 略図設定 略図 図面参照 写真閲覧 表示設定 詳細設定 拡張機能 その他

編集モード 編集

工程名 場所打杭工

種別名 1

細別名

測定者

横断データ入力 縦断データ入力

No.0

No.0	測定項目	設計値	実測値1	単位	差1	単位_差	規格値	社内規格
2	根入長 ( )					mm	0 ~	
3	X ( ) 【杭偏心量】	10.000			+4	mm		
4	Y ( ) 【杭偏心量】	20.000	20.000	mm	+5	mm		
5	H ( ) 【杭偏心量】				+10	mm		
6	偏心量 (d) 【杭偏心量】	4	5	mm	+6	mm	~ +100	

1 入力



## ご注意

- (1) 本書の内容およびプログラムの一部、または全部を当社に無断で転載、複製することは禁止されております。
- (2) 本書およびプログラムに関して将来予告なしに変更することがあります。
- (3) プログラムの機能向上、または本書の作成環境によって、本書の内容と実際の画面・操作が異なってしまいう可能性があります。この場合には、実際の画面・操作を優先させていただきます。
- (4) 本書の内容について万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点・誤り・記載漏れなどお気付きの点がございましたら、当社までご連絡ください。
- (5) 本書の印刷例および画面上の会社名・数値などは、実在のものとは一切関係ございません。

## 商標および著作権について

Microsoft、Windows、Excel、Word は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Adobe、Acrobat は Adobe KK（アドビ株式会社）の商標です。

その他の社名および製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

### ① ソフトの操作に困ったら「サポートページ」をご活用ください！

機能・操作に関するサポートコンテンツを多数ご用意しております。よくあるご質問(FAQ)、PDF マニュアルなどをご確認いただけます。業務効率化や不明点の確認・学習にお役立てください。

#### 「サポートページ」へのアクセス方法

- ① デスクトップにあるショートカットをダブルクリックする



- ② 検索サイトから検索する

株式会社 建設システム 〒417-0862 静岡県富士市石坂 312-1 TEL 0570-200-787 FAX 0545-23-2601  
2025 年 6 月 16 日 発行

このマニュアルは、出来形管理システム Ver.5.94.00 の画面で作成しています。